

団体名	麻生区クールアース推進委員会		活動年数	22年
			メンバー数	12人
活動紹介	活動場所	麻生区		
	活動日	毎月第1水曜日（定例会）		
	活動を始めた背景 麻生区区制 20 周年記念事業として、区役所屋上に太陽光発電設備の設置が決まったことを契機に委員会が発足。区役所と協働で活動を進め、今年 22 周年を迎えました。			
	活動内容 麻生区民に自然エネルギーの活用及び温室効果ガスの削減など地球温暖化防止対策を普及させること等を目的としています。 ・委員会の開催（月1回） ・イベント あさお子育てフェスタ「おひさまと遊ぼう」、「太陽光発電設備設置記念イベント」、「夏休み環境イベント」、「区民まつりへの出展」など ・保育園、小学校の寺子屋等への出前授業、大人向け出前講座 ・あさお自然エネルギー学校（映写会・講座等） ・麻生区役所屋上太陽光パネル見学希望者の受け入れ ・ニュースレター「おひさまだより」の発行 ほか 麻生区と公学連携協定を結ぶ大学との連携を模索、幅広い年代の人たちと取り組むことによる地球温暖化防止活動の活発化を目指しています。			
2024年度のトピックス	● 2024年8月夏休み環境イベント「ソーラークッカーを作ろう」を実施。 ● 10月に「寺小屋くりぎだい」「寺子屋あさお」に出前講座を実施。ペットボトルの風力発電機、ソーラーエコライトづくりを行い、小学生と地球温暖化について考えました。 ● 11月あさお自然エネルギー学校「映画を見て、気候危機について一緒に考えましょう！」を開催。「気候戦士～CLIMATE WARRIORS～」を観て、意見交換を行いました。 ● 2025年2月協力団体に呼びかけを行い、22周年記念イベント「気候危機に挑む～日本はどう取り組むべきか」を開催予定。伊与田昌慶氏（350.org ジャパン・キャンペナー）による講演会と意見交換を行います。			
課題	活動のボリュームに対する市民委員の不足が課題です。 SNS の活用ができていません。担い手を募集中です。			
参加上の案内	☑ 会員募集中 興味のある方は下記へご連絡ください。			
代表者	名前 児嶋 脩（委員長）			
連絡先	名前 林 恵美（事務局） 住所 〒215-0006 麻生区金程 1-13-22 電話 299-6460 FAX 299-6460 E-mail asao.cool@gmail.com 麻生区ホームページから「麻生区クールアース推進委員会」で検索			

麻生区クールアース推進委員会



かわさきSDGs
パートナー

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

平成 14 年(2002 年)、麻生区区制 20 周年記念事業として、区役所の屋上に太陽光パネルが設置されたことを機に委員会が発足しました。

地球温暖化問題の解決に向けて、区役所と協働して自然エネルギー、省エネルギーの普及啓発活動を行っています。



麻生区役所屋上の太陽光パネル

月 1 回、区役所で委員会を開催しています。見学の希望、当委員会への質問など気軽にお問い合わせ下さい。
麻生区 HP に紹介ページを掲載しています。



麻生区クールアース推進委員会
事務局: 林 恵美
✉ asao.cool@gmail.com



8 月環境イベント「ソーラークッカーを作ろう！」



10 月あさお区民まつり



10 月寺子屋あさお・くりぎだい



11 月あさお自然エネルギー学校

団体名	かわさきかえるプロジェクト あさおてんぷら油資源化チーム		活動年数	15 年
			メンバー数	5 人
活動紹介	活動場所	麻生区内		
	活動日	不定期		
	活動を始めた背景 きれいな水と空気を未来の子どもたちに残すことを目的に「台所から地球温暖化ストップ！」をテーマに一般家庭から廃食油を回収し、せっけんや BDF にリサイクルする地域内資源循環を実現する。2012 年から菜の花プロジェクトに取り組み、麻生区の農的資源を活かし、資源循環をさらに進め、区民への普及啓発を図る。 活動内容 1. 家庭から出る廃食油の回収とせっけん使用の推進。 2. 菜の花を栽培し、搾油、搾りかすは畑に戻し、油は食用に。残った油は回収してせっけんや BDF にリサイクルする菜の花プロジェクトの推進。「菜の花ボランティア」を募り、播種・除草・刈り取り・選別の作業を行っている。 3. より多くの区民に資源循環の取組みを知らせるため、各種イベントへ参加。子育て世代に地域資源循環の重要性を知らせるため、親子で楽しめる企画を行っている。			
2024 年度のトピックス	麻生産菜種油の活用に向けては、東百合丘、早野、宮前区の圃場は継続、古沢は主体となっていたいただいた方の逝去に伴い、圃場を返上した。こども文化センターとの連携は、千代ヶ丘、虹ヶ丘、東百合丘、王禅寺、柿生まで広がっている。 8 月に王禅寺こぶんで麻生産菜種油の搾油体験とパンケーキ作りを行った。 8 月に親子企画：地産地消の料理教室、11 月にかわさき子ども権利の日の市民事業として「せっけんおばけとあわあわであそぼう」を実施。地域の親子と石けんでつながる企画を実施した。			
課題	廃食油の回収については、麻生区ホームページに回収のお知らせ掲載と区役所ロビーの使用について協働を継続している。親子企画では麻生区の後援をいただき、広報に協力いただいている。 多忙なチームメンバーが多いため、新たなチームメンバーの増員が大きな課題。菜の花ボランティアの新規参入と定着が課題。			
参加上の案内	菜の花ボランティアとチームメンバーは随時募集。一緒に活動しましょう。 ■ 会員募集中 ■ 事務局などのスタッフ募集中 ■ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） ■ 寄付金の受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。 地域資源循環や SDGs、せっけん学習会へ、講師派遣もします。			
代表者	名前 門平きょう子 住所 〒215-0024 麻生区白鳥 1-16-11 電話 988-2282 FAX 同左 E-mail kado0207@jcom.home.ne.jp			
連絡先	名前 林 恵美 住所 〒215-0006 麻生区金程 1-13-22 電話 299-6460 FAX 同左 E-mail em1ha@outlook.jp ホームページ https://kaeru.kazekusa.jp/ 麻生かえるをクリック			



かわさきかえるプロジェクト 2024 年 あさおてんぷら油資源化チームです！

家庭の使用済みてんぷら油は、地球温暖化対策の観点から、注目されています。特に、川崎の市民が中心となる回収のしくみが注目を集め、新聞などで取り上げられています。

2023 年度は回収活動に合わせ、菜の花プロジェクトを継続、イベントへの参加や料理教室で活動をアピールしました。

2023 年度の麻生区廃食油の回収量は…

2405.20 前年比 115.2%と伸ばしました
柿生こども文化センターでの回収が始まり、こぶんと連携は 5 センターとなりました。
引き続き、回収ポイントを募集しています。

2024 年 菜の花プロジェクト活動報告会

2024 年 9 月 20 日（金）麻生市民館料理室

2024 年産菜種油の育成の様子や搾油状況について報告を行い、久しぶりに、菜種油を使ったランチを楽しみ、ボランティアさんと交流しました。卵多めのお好み焼きを作りました。

菜の花の手入れをお手伝いくださるボランティアを募集しています。



2024 年 6 月 菜種の刈り取り

今季は、古沢、東百合丘、早野の圃場、千代ヶ丘、虹ヶ丘、王禅寺、東百合丘の 4 つのこども文化センター、宮前区の吉岡さんの畑に作付けました。梅雨入りが遅かった分、刈り取りは登熟の順に丁寧に行えましたが、全体収穫量は 18.5kg と昨年の 33kg に比べ、大幅に減少してしまいました。特に古沢圃場は、昨年の半分ほどの 10kg 減の収穫量にとどまり、次期に向けては対策が必要です。

王禅寺と東百合丘のこども文化センターでは、地域の子どもたちと収穫を行うことができました。王禅寺こぶんでは夏休みに搾油体験と麻生産菜種油で焼くパンケーキ作りを楽しみました。



東百合丘圃場の刈り取り



東百合丘こぶん



王禅寺こぶん

2024 年秋 菜種の播種と生育状況

2024 年の夏の猛暑は記録的でした。今期は、種まきの時期を 10 日ほど遅くして、10 月中旬に早野はぐるまの会圃場、東百合丘島貫さん圃場、虹ヶ丘こぶん（こぶん：こども文化センター）、東百合丘こぶん、10 月下旬に王禅寺こぶん、千代ヶ丘こぶん、11 月初旬に宮前区吉岡さん圃場に菜種をまきました。2012 年からお世話になった古沢の鈴木宏平さんが 1 月に逝去され、作付けを終了しました。

各圃場とも、順調に生育しています。12 月初旬に各圃場の間引きを行いました。王禅寺こぶんの間引きは、あいにくの雨模様でしたが、こぶんに遊びに来ている児童も参加してくれ、にぎやかに行いました。間引き菜の一部はポットに移し、育成しています。ポット苗は吹込の花壇に定植していただく予定です。4 月には吹込交差点で菜の花を楽しんでいただけたら幸いです。

団体名	グループ「せっけんの家」		活動年数	29 年
			メンバー数	54 名
活 動 紹 介	活動場所	神奈川県内	 せっけんを使って … 守ろう 水 つなげよう未来に…	
	活動日	講座は企画に応じて開催。 世話人会(スタッフ会議)は月 1～2 回		
活動を始めた背景 ♪ うさぎ追いし彼の山～、小鮒釣りし彼の川～ ♪ この半世紀、山は開発の波に呑み込まれ、どんどん自然が少なくなっています。 合成洗剤の登場で、70 年代に日本全国の川が泡だらけになったこともありました。 そのころ、合成洗剤の影響で皮膚障害を起こす人が増え、医師から合成洗剤の使用をやめて せっけんを使うようにしなさいと多くの人が言われました。 私たちが洗濯に使う洗剤には、せっけんと合成洗剤があり、違いがあります。 せっけんは植物や動物の油にアルカリ剤を反応させたただけのもので、人体に優しく、自然界に流れ出ても 1 日で分解されます。 合成洗剤は石油が精製される過程でできたナフサを原料としていて、その成分の合成界面活性剤(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム他 9 種類)は環境省で定めたPRTR 制度で、人の健康を損ない、動植物の生息に支障をきたすという、第一種指定化学物質にあげられています。 私たちは、人体にも環境にも負荷のかからないせっけんを使って、未来の子どもたちに今ある地球の環境を残したいと活動をスタートしました。 活動内容 ・ せっけん出前講座 ・ 学習会 ・ せっけん作り ・ 会報紙「せっけんカフェ」発行 ・ 湧水めぐり ・ 里山フォーラム参加 他				
2024 年度の トピッ クス	「あさお福祉まつり」に昨年に続き出店参加しました。 きなりっこの紹介に加え今回は、重曹を使いバスボム作りを体験してもらいました。 グループ「せっけんの家」のホームページ https://sekkennoie.sakura.ne.jp/ 			

課題	川崎市内の小学校の給食現場や一般家庭やレストランからでた使用済み食用油を原料とした「きなりっこ」を私たちは多くの方々にその優位性と使いこなし方を伝えてきました。合成洗剤の中には香りが持続する柔軟剤や抗菌剤入りで、頭痛・吐き気・倦怠感に悩まされ体調が悪化するなど、「香害」による化学物質過敏症を発症する人が増えています。現在の大きな課題です。誰もが発症する可能性があるもので、私たちは安心安全な「きなりっこ」をお勧めしています。
参加上の案内	貴会からのいつものメッセージをご記入ください。 ☒ 会員募集中 ☒ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） ☒ 事務局のスタッフ募集中 ☒ 寄付金の受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。
代表者	名前 藤原 美子 住所 〒215-0031 麻生区栗平 1-4-37 電話 & FAX 044-987-2084 ケイタイ 090-5825-1770 E-mail ypyf311b@jcom.home.ne.jp
連絡先	名前 村山 美香子 住所 〒215-0036 麻生区はるひ野 4-18-4 電話 044-299-7730 ケイタイ 090-6018-2114 FAX 044-299-7731 ホームページなど E - mail mt.village1129@kyp.biglobe.ne.jp HP https://sekkennoie.sakura.ne.jp/

バスボム作り
体験

11 月 12 日
あさお福祉まつり
に参加！



12 月 13 日
戸塚でせっけん講座



ビフォー



アフター

団体名	麻生ヤマユリ植栽普及会		活動年数	16 年
			メンバー数	17 名
活動紹介	活動場所	植栽活動は麻生区内 6 カ所。 会議は区役所・会議室		
	活動日	植栽活動：各植栽地で月 1 ～ 2 回。 定例会議：隔月第 3 木曜日。		
	< 目的 > 地元地域で活動しているボランティア団体と連携しながら、ヤマユリの植栽を促進、支援をする。また、その知識の蓄積を図りながらヤマユリの普及を推進すること。 < 活動内容 > ＊月 1 ～ 2 回、麻生区内の緑地・公園に赴きヤマユリの植栽及び保全活動を行っている。 現在の主な植栽地（協働団体）は①岡上梨子ノ木緑地（かわさき自然と共生の会） ②王禅寺すぎのき緑地、籠口ノ池公園、下麻生まつのき緑地（木こりの会） ③万福寺おややしろ公園④区役所中庭と市民館裏⑤王禅寺公園（公園愛護会）⑥百合丘第 3 公園 ▲ 4 月 25 日、麻生市民館で「育苗講習会」を開催した。ヤマユリの育て方の講義と実演を行った。また、会員が発芽させた幼苗を参加者に無料で配布した。 ▲ ヤマユリの「開花展示会」を 7 月 5 日から 7 月 10 日まで市民館ギャラリーで開催した。入場者は約 850 名に達し区民のヤマユリに対する関心の高さを示した。また開催中に校外学習の一環として百合小児童 3 年生 139 名が来訪した。 ▲ 11 月 28 日には、ヤマユリの「植え替え講習会」を区役所第 1 会議室で開催した。今回は 35 名が参加、質問も多く活潑な講習会になった。また下田市や藤沢市など遠方からの参加があった。			
	トピックスなど ▲ 5 月 20 日にヤマユリの「育苗の講習会」を麻生老人福祉センターで実施した。参加された 14 名の方々は、約半数が育成の経験があり育苗方法などを熱心に学習されていた。 ▲ 百合小の出前授業を 10 月と 12 月の 2 回行った。今回は 5, 6 年生の園芸委員約 25 名を対象にプランターへの種まきや育成苗の植え替え方法などを学習して貰った。			
課題	※会員の世代交代 広報のビジュアル見直し ヤマユリ球根の安定確保			
参加上の案内	麻生区に在住し、在勤・在学の方ならどなたでも参加できます。 年会費：無料 ☑ 会員募集中 ☑ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり）★賛助会員として登録可 興味のある方は下記へご連絡ください。			
代表者	▲松田 肇 住所：麻生区王禅寺東 3-8-40 電話： 090-7904-3112			
連絡先	▲事務局 山田 栄二 電話：090-2565-3390 E-mail:ginjirou10@mte.biglobe.ne.jp ▲麻生区の HP のトップページ柿丸君の下、 区の花ヤマユリをクリックすると当会の詳しい内容が見られます。			

麻生ヤマユリ植栽普及会

※2024 活動



★出前授業（百合小・12月2日）



★早野（7月11日）



★出前授業（百合小・10月21日）



★万福寺おやしろ公園（10月22日）



★岡上梨子ノ木緑地（11月10日）

団体名	万福寺人参友の会		活動年数	25.5 年
			メンバー数	20 人
活動紹介	活動場所	平素は各会員の栽培地。種の配布と「品評会・試食会」は麻生市民館		
	活動日	種の配布は6月。「品評会・試食会」は12月下旬		
	《活動趣旨》 万福寺鮮紅大長人参（通称：万福寺人参）は、現在の麻生区万福寺とその周辺地区のかつての特産品で、全国野菜品評会において昭和 29 年から5年連続で日本一になりました。会ではこの人参の栽培と普及の活動を通して、人参を生み出した人々の歩みや風土を深く理解し、次の世代にも伝えていきたいと考えて活動しています。 《第25回万福寺人参品評会 - 私の万福寺人参を語り合う会 - 12月21日開催》 品評会は、例年「里山フォーラム in 麻生・幹事会」のご支援のもとに開催しています。従来は品評会と併せて試食会も開催してきましたが、第21回より感染症対策を重視して試食会は中止しています。 今年度のこの人参の栽培特徴としては、種蒔き時期が広がったことがあります。ここ数年、以前から種蒔き適期（=7月中旬）と伝承されてきた時期が酷暑続きと重なったせいか、6月、8月の人が増えました。また、新しい栽培方法では袋栽培に加え、初めて無肥料栽培による出品もありました。 品評会への出品者数は21組の個人・グループからありましたが、地元の小学校からの出品が少なくなっていることが懸念され、次の世代への継承という重要課題を改めて浮き彫りにさせました。 品評会の審査対象では、残念ながら今年度も「味覚賞」は設けず、その他は厳正な審査のもと次の各賞受賞者が決まりました（審査委員=長瀬和徳、岩本陽児、山本奈保美、相澤悟の各氏）。  最優秀賞－小林貴也（黒川東） 姿（ルックス）賞－鈴木章夫 色彩賞－佐藤来夢(明治大学) 香り賞－二見萌菜(明治大学) 努力賞－金程小学校2年 努力賞－古川美賀（黒川東） ユニーク賞－大森勝司 審査中、参加者は別室で「私の万福寺人参を語り合う会」を行いました。明治大学生の今年の取組をメインに質疑が続ぎ、栽培への工夫をしようという意欲に満ちた会になりました。ティータイムでは、ヘルスメイトがこの人参を活かした万福寺人参ケーキを焼いてくれ、みんなで楽しむことができました。			
	種の配布	栽培を希望する人への種の斡旋・配布(有料)を6月におこなっています。		
	課題等	①麻生区内の学校で取り上げてくれることを重視しています。 ②この人参の遺伝性質と風土性を維持継承するため、地元採種の経験を蓄積したい。		
参加案内	■初めて栽培する人歓迎 ■事務局スタッフ募集中 ■寄付などの受付			
連絡先	名前 岡本 剛介 電話 090-9158-0451 Eメール go-okamoto@ymobile.ne.jp			

万福寺人参の歌

作詞 おおふじやん

作曲 ちやぶん

(補作詞)

一、真夏の太陽 照る畑
たれせ たれせ 井が出だも
人参つれば 心が晴れる
うまいうち福 福かいる

※(一・十・百・千・万福寺 大長人参)

二、仰ぐ青天 黒い土
ほたりほたり なかなかと
人参たれば 丈夫になれる
うまいち福 福かいる

※(繰り返す)

三、村を廻った人参の
命の力を伝えよう
心あわせおとなしく
元気に万福 福かいる

※(繰り返す)



団体名	麻生区地域教育会議		活動年数	30 年
			メンバー数	36 名
活動紹介	活動場所	主に麻生市民館		
	活動日	役員会・運営委員会月 1 回、 青空子ども会議 11 月 23 日		
	活動を始めた背景 1980年代、校内暴力で荒れる学校や少年事件が多発し、川崎でも深刻な事件が起き、教育の危機が指摘されました。市民の声をもとに、川崎では地域からの教育改革を目指して、「地域教育会議」が提案され、行政区や中学校区に順次設置されました。麻生区地域教育会議では、地域と学校・行政がともに協力し、子どもがいきいき育つまち、大人が楽しく学べるまちを目指し活動すると共に、区内中学校区での地域学校協働本部に向けて協力しています。 活動内容 ・教育を語るつどい（麻生の寺子屋） 中学校区（地域学校協働本部）交流会 教育を語る集い「かわさき子どもの権利条例を考える」 地域の寺子屋交流会（市民館と協活） ・子ども会議（青空子ども会議） 開催場所：黒川青少年野外活動センター 「かわさき子どもの権利条例」に基づき、子ども達が自由に考え表現し、交流する場 ・さんりんしゃ（広報紙）発行			
2024年度のトピックス	行政区としては、3つの情報交換・交流の場を開催。それぞれの立場の課題についても話し合う機会を設けることができました。 また、第3回子ども会議を開催し、多くの子どもたちに参加してもらうことができました。本年度は子ども委員の募集を行い、企画段階から参加してもらいました。子ども達のいきいきとした笑顔や声、大きい子どもたちが小さい子どもたちの意見を引き出し真剣にまとめていく姿が印象的でした。子どもたちが、自主的に考え、実践していくことの大切さを感じました。本年度も区長に参加いただき、各グループの発表に区長からコメントをいただきました。自分たちの考えを発表できたことは大きな財産となったことと思います。 次年度は子ども委員の活動を活発にして開催に向けて活動をすすめていきます。			
課題	行政の制度の変更等の情報共有や対応に時間がかかる。 活動を継続し、発展していくためには、参加団体との連携強化と共に、地域教育会議の根幹である住民委員をいかに増やしていくかが課題。			
参加上の案内	□15 期の住民委員募集中 ※詳しくは広報紙さんりんしゃ 65 号（1 月 1 日発行）参照			
代表者	井上俊夫 （議長）			
連絡先	名前 麻生市民館生涯学習支援課地域教育会議担当 住所 〒215-0004 麻生区万福寺1-5-2麻生市民館内 電話 951-1300 FAX 951-1650 E-mail 88asaosi@city.kawasaki.jp			

青空子ども会議

2024 年 11 月 23 日 会場：黒川青少年野外活動センター

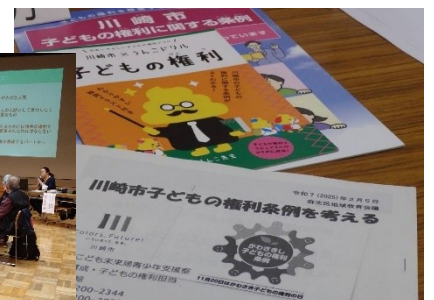


今年も青空の下、火をおこしおいしい
ピザを食べて、食後には SDGs のクイズ
をみんなで解いたよ。ピザ作りとクイズ
で打ち解けた後は、SDGs について、
小学生から高校生までグループに分か
れてみんなで話し合い発表しました。
充実した笑顔で全員集合!!
来年もこの場所で会おうね!

中学校区交流会・教育を語る集い

2025 年 2 月 5 日 場所：麻生市民館大会議室

麻生区中学校区地域教育会議交流会において「川崎市子どもの権利条例を考える」をテーマに、こども未来局青少年支援室 圓谷雪絵様を講師に迎えワークショップを行いながら、楽しく「子どもの権利条例」から改めて、多くの学びを得ました。



団体名	麻生区子ども会連合会		活動年数	約４０年
			メンバー数	約３０名
活動紹介	活動場所	麻生区内が中心		
	活動日	年間を通して子ども会の行事を開催		
	活動を始めた背景			
	学校や家庭以外でも、仲間を作り助け合うことの大切さを学ぶ場としてずっと活動しています。みなさんの子どものころからある子ども会ですので、これからも変わらず活動します。昨年が、子ども会連合会４０周年でしたので、気持ち新たに思い出に残る活動をしていきたいです。			
	活動内容			
	・スポーツ活動「少年野球大会」「羽根つき大会」など			
	・区民祭や福祉祭りへの出店			
	・町のボランティア活動			
	・ハケ岳キャンプや遠足など			
2024年度のトピックス	コロナで活動が止まっていたころから、一気に活動が復活してきたので、運営する役員側がてんてこまいでした。しかし、イベントがあれば子ども達は大勢集まってくるので、みんな待ち望んでいたんだと感じました。 多摩動物公園での遠足は、寒い時期だったので動物たちはほぼ寝てました（笑）が、みんなとても楽しめました。			
課題	役員を頼まれることを避けるために子どもを町の活動に送り出さないようにしている大人に対して、活動のメリット（魅力）を伝えていかねばなりません。それは子ども会だけでなく、全ての活動で同じ課題だと思います。			
参加上の案内	役員の世代交代が始まっています。ベテランと新規役員が混ざることで、古き良きものと時代に合った新しいものを組み合わせて活動しています。 地域貢献に興味のある方は、下記へご連絡ください。			
代表者	名前：本田 知生 住所：〒215-0035 川崎市麻生区黒川 681-1 ガーデンシティ若葉台 104 電話：080-3085-4311 FAX：044-980-0504 E-mail：t.honda104@gmail.com			
連絡先	同上			

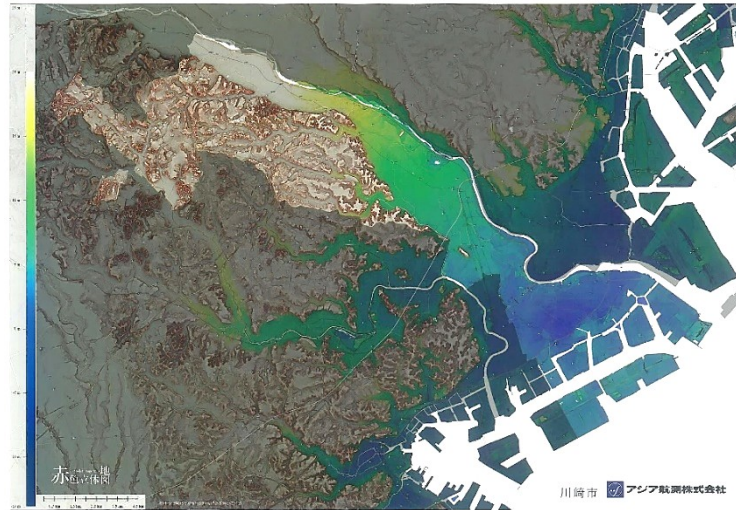
名称	公益財団法人 かながわトラストみどり財団		活動年数	39年																	
			メンバー数	9,444名 (2023/9現在)																	
活動紹介	活動場所	神奈川県内各地域																			
	活動日	定例活動やイベントなど年間を通して活動																			
	当財団はかながわのナショナル・トラスト運動を推進し、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。																				
最新トピックスなど	■地域活動を支援する「緑の実践団体」登録できます 自治会や市民団体が行う地元地域の公園や緑地など身近な自然を守るための活動に対して、奨励金や助成金の交付、研修等の開催を行っています。 ■木質資源の有効活用 神奈川県内で樹木の「ナラ枯れ」が問題となっています。このナラ枯れ対策として薪型に細断し乾燥をかけ、ストーブ利用者などに寄附返礼品として提供しています。このほかキノコの原木栽培利用もありますが、ナラ枯れ処理だけにとらわれず、樹木管理で出る木材等を有効に活用していくことに取り組んでいます。詳細は財団WEBサイトを確認ください。 ■機関誌ミドリで情報発信 1986年に創刊し、年4回発行している自然環境に関する情報誌です。動植物の生態から自然景観、森林・里山のボランティア活動やイベントなどを取り上げています。多くの方にトラスト運動を周知し、自然環境の大切さを知っていただくことを目指しています。トラスト会員の皆さまにはご自宅に郵送されます。																				
	課題																				
会員になると無料の自然観察会や優待施設、会費は寄付金控除の対象となりますので、ぜひトラスト会員にご登録ください。トラスト会員募集中です！																					
参加上の案内	トラスト会員(普通会員) <table><tr><td rowspan="3">個人</td><td>大人</td><td>2,000円</td></tr><tr><td>中・高校生</td><td>1,000円</td></tr><tr><td>小学生</td><td>500円</td></tr><tr><td>家族</td><td>1家族</td><td>3,000円</td></tr><tr><td>法人/団体</td><td>1口</td><td>10,000円</td></tr></table> トラスト緑地保全支援会員(任意加入) <table><tr><td>個人/家族</td><td>3,000円</td></tr><tr><td>法人/団体</td><td>1口 10,000円</td></tr></table> 会費は緑地保全や地域の緑化のほか、財団の運営に充てられます。 1年会員 年ごとに会費を納めます 6年会員 5年分の会費を1回でお払いいただくと6年間会員になれます。 特典：機関誌4回、優待施設、イベント等				個人	大人	2,000円	中・高校生	1,000円	小学生	500円	家族	1家族	3,000円	法人/団体	1口	10,000円	個人/家族	3,000円	法人/団体	1口 10,000円
	個人	大人	2,000円																		
中・高校生		1,000円																			
小学生		500円																			
家族	1家族	3,000円																			
法人/団体	1口	10,000円																			
個人/家族	3,000円																				
法人/団体	1口 10,000円																				
連絡先																					
名前 (公財)かながわトラストみどり財団事務局 住所 〒220-0073 横浜市西区岡野 2-12-20 電話 045(412)2525 E-mail : midori@ktm.or.jp WEB など ktm.or.jp facebook Twitter 有																					

名称	川崎市役所 環境局 総務部企画課
活動紹介	川崎市では、令和 4 年 3 月に改定した 「生物多様性かわさき戦略～人と生き物つながりプラン～」 に基づき、様々な取組を進めています。 生物多様性かわさき戦略ホームページ https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000134692.html 令和 5 年 7 月から 9 月にかけてスマートフォンアプリを使用した生き物探しイベント「アプリで生き物探し！夏休み特別クエスト in かわさき」を実施し、1 万 2 千件を超える投稿がありました。市民の皆様から投稿いただいた生き物の写真を活用して、デジタル図鑑「みんなで見つけた！かわさきの生き物図鑑」を作成しました。 小中学生が使う GIGA 端末で閲覧できるよう、デジタル図鑑としています。  「みんなで見つけた！ かわさきの生き物図鑑」  イベントで活用したアプリ 「バイオーム (Biome)」 今年も市制 100 周年記念事業として、全国都市緑化かわさきフェアの開催期間に合わせ、 「アプリで生き物探し！特別クエスト in かわさき」を実施しております。 10 月・11 月の秋開催では 6,000 件を超える投稿がありました。 春も次のとおり開催していますので、ぜひご参加ください。 クエスト開催期間：3 月 1 日～4 月 30 日 投稿いただいた写真は、市が作成する環境教育・学習用の 図鑑・教材等に使用させていただきます。 ※希少種を投稿した場合、位置情報は非公開となります。  詳しくはコチラからチラシをご覧ください
連絡先	住所 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 番地 電話 044-200-3720 FAX 200-3921 E-mail 30kikaku@city.kawasaki.jp

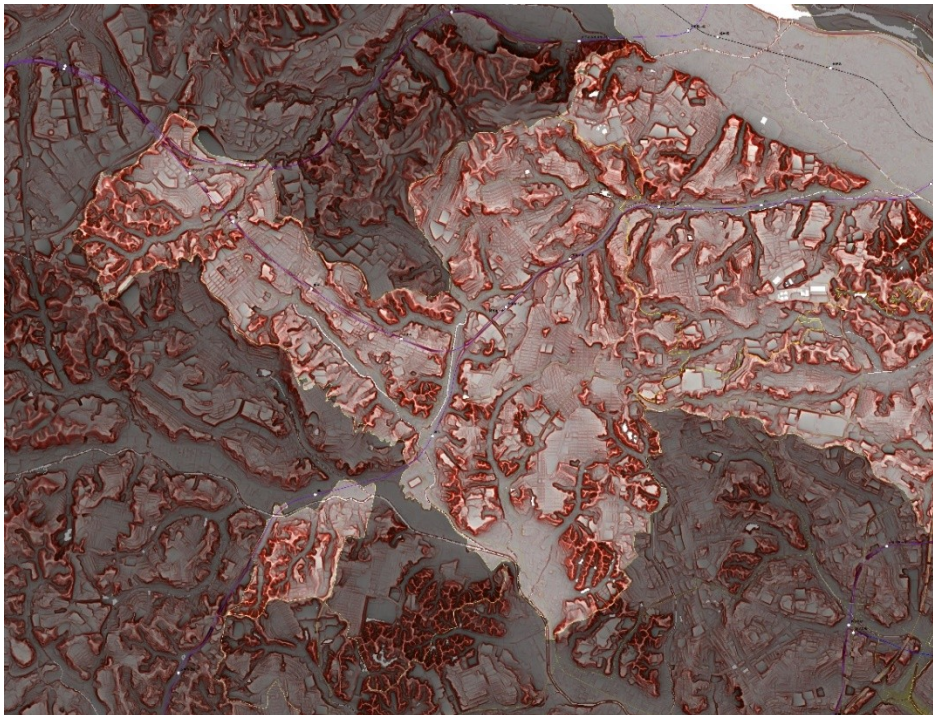
名称	建設緑政局緑政部・グリーンコミュニティ推進室ほか 																						
活動紹介	川崎市では、みどりに係る様々な取組を連携して進めています。 <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="309 297 767 342">建設緑政局</th><th data-bbox="767 297 1485 342">担当している内容 緑の駅 モリオン</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="309 342 767 394">総務部 企画課（緑政計画）</td><td data-bbox="767 342 1485 394">・公園、緑地等に係る施策の企画、調整及び計画</td></tr> <tr> <td data-bbox="309 394 767 546">緑政部 みどりの管理課</td><td data-bbox="767 394 1485 546"> ・公園、緑地等に係る管理及び調整 ・都市公園台帳 ・公園、緑地等の財産管理の総括 ・公園施設の設置及び管理許可 </td></tr> <tr> <td data-bbox="309 546 767 734">みどり・多摩川事業推進課</td><td data-bbox="767 546 1485 734"> ・公園、緑地等に係る事業のとりまとめ ・公園、緑地等への民間活力導入、公民連携に係る調整 ・多摩川の市民利用の推進及び広域連携、協働連携 ・せせらぎ館、干潟館の施設管理運営 ・緑の基本計画及び多摩川プランの改定 </td></tr> <tr> <td data-bbox="309 734 767 1137">みどりの保全整備課</td><td data-bbox="767 734 1485 1137"> ・公園、緑地等の整備計画 ・緑の保全に係る地区の指定等 ・工事設計等の調整及び総括 ・工事の設計及び監督 ・公園、緑地等の維持管理についての調整 ・多摩川管理事務所及び関係機関との連絡調整 ・都市計画法に基づく開発行為等に伴う公園及び緑地に係る協議及び指導 ・都市計画施設の公園、緑地等における建築等の規制及び建築許可 </td></tr> <tr> <td data-bbox="309 1137 767 1189">霊園事務所</td><td data-bbox="767 1137 1485 1189">・所の維持管理、緑ヶ丘霊園・早野聖地公園の管理運営</td></tr> <tr> <td data-bbox="309 1189 767 1240">夢見ヶ崎動物公園</td><td data-bbox="767 1189 1485 1240">・園の維持管理、動物の収集、飼育及び展示、調査研究</td></tr> <tr> <td data-bbox="309 1240 767 1292">生田緑地整備事務所</td><td data-bbox="767 1240 1485 1292">・所の維持管理、生田緑地の管理運営</td></tr> <tr> <td data-bbox="309 1292 767 1615"> 令和 7 年 4 月 1 日 新設 グリーンコミュニティ推進室  </td><td data-bbox="767 1292 1485 1615"> ・緑化フェア  令和 7 年 3/22~4/13 の運営、調整 ・国際園芸博覧会との連携、調整 ・公園、緑地等における協働事業の推進、企画及び調整 ・公園、緑地等の利活用活性化 ・民有地等の緑化及び樹木等の保全 ・緑化センター ・公益財団法人川崎市公園緑地協会 </td></tr> <tr> <td data-bbox="309 1615 767 1742">富士見・等々力再編整備室</td><td data-bbox="767 1615 1485 1742"> ・富士見公園及び等々力緑地に係る整備計画及び調整 ・富士見公園及び等々力緑地の整備 ・富士見公園及び等々力緑地の管理運営の調整 </td></tr> <tr> <td data-bbox="309 1742 767 1816">各区役所道路公園センター</td><td data-bbox="767 1742 1485 1816"> ・公園、緑地等の協働・利活用推進 ・公園、緑地等の維持管理 </td></tr> </tbody> </table> 川崎市ホームページでは、みどりに係る事業内容について、ご紹介しています。 https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000028092.html	建設緑政局	担当している内容 緑の駅 モリオン	総務部 企画課（緑政計画）	・公園、緑地等に係る施策の企画、調整及び計画	緑政部 みどりの管理課	・公園、緑地等に係る管理及び調整 ・都市公園台帳 ・公園、緑地等の財産管理の総括 ・公園施設の設置及び管理許可	みどり・多摩川事業推進課	・公園、緑地等に係る事業のとりまとめ ・公園、緑地等への民間活力導入、公民連携に係る調整 ・多摩川の市民利用の推進及び広域連携、協働連携 ・せせらぎ館、干潟館の施設管理運営 ・緑の基本計画及び多摩川プランの改定	みどりの保全整備課	・公園、緑地等の整備計画 ・緑の保全に係る地区の指定等 ・工事設計等の調整及び総括 ・工事の設計及び監督 ・公園、緑地等の維持管理についての調整 ・多摩川管理事務所及び関係機関との連絡調整 ・都市計画法に基づく開発行為等に伴う公園及び緑地に係る協議及び指導 ・都市計画施設の公園、緑地等における建築等の規制及び建築許可	霊園事務所	・所の維持管理、緑ヶ丘霊園・早野聖地公園の管理運営	夢見ヶ崎動物公園	・園の維持管理、動物の収集、飼育及び展示、調査研究	生田緑地整備事務所	・所の維持管理、生田緑地の管理運営	令和 7 年 4 月 1 日 新設 グリーンコミュニティ推進室 	・緑化フェア  令和 7 年 3/22~4/13 の運営、調整 ・国際園芸博覧会との連携、調整 ・公園、緑地等における協働事業の推進、企画及び調整 ・公園、緑地等の利活用活性化 ・民有地等の緑化及び樹木等の保全 ・緑化センター ・公益財団法人川崎市公園緑地協会	富士見・等々力再編整備室	・富士見公園及び等々力緑地に係る整備計画及び調整 ・富士見公園及び等々力緑地の整備 ・富士見公園及び等々力緑地の管理運営の調整	各区役所道路公園センター	・公園、緑地等の協働・利活用推進 ・公園、緑地等の維持管理
建設緑政局	担当している内容 緑の駅 モリオン																						
総務部 企画課（緑政計画）	・公園、緑地等に係る施策の企画、調整及び計画																						
緑政部 みどりの管理課	・公園、緑地等に係る管理及び調整 ・都市公園台帳 ・公園、緑地等の財産管理の総括 ・公園施設の設置及び管理許可																						
みどり・多摩川事業推進課	・公園、緑地等に係る事業のとりまとめ ・公園、緑地等への民間活力導入、公民連携に係る調整 ・多摩川の市民利用の推進及び広域連携、協働連携 ・せせらぎ館、干潟館の施設管理運営 ・緑の基本計画及び多摩川プランの改定																						
みどりの保全整備課	・公園、緑地等の整備計画 ・緑の保全に係る地区の指定等 ・工事設計等の調整及び総括 ・工事の設計及び監督 ・公園、緑地等の維持管理についての調整 ・多摩川管理事務所及び関係機関との連絡調整 ・都市計画法に基づく開発行為等に伴う公園及び緑地に係る協議及び指導 ・都市計画施設の公園、緑地等における建築等の規制及び建築許可																						
霊園事務所	・所の維持管理、緑ヶ丘霊園・早野聖地公園の管理運営																						
夢見ヶ崎動物公園	・園の維持管理、動物の収集、飼育及び展示、調査研究																						
生田緑地整備事務所	・所の維持管理、生田緑地の管理運営																						
令和 7 年 4 月 1 日 新設 グリーンコミュニティ推進室 	・緑化フェア  令和 7 年 3/22~4/13 の運営、調整 ・国際園芸博覧会との連携、調整 ・公園、緑地等における協働事業の推進、企画及び調整 ・公園、緑地等の利活用活性化 ・民有地等の緑化及び樹木等の保全 ・緑化センター ・公益財団法人川崎市公園緑地協会																						
富士見・等々力再編整備室	・富士見公園及び等々力緑地に係る整備計画及び調整 ・富士見公園及び等々力緑地の整備 ・富士見公園及び等々力緑地の管理運営の調整																						
各区役所道路公園センター	・公園、緑地等の協働・利活用推進 ・公園、緑地等の維持管理																						
連絡先	住所 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 電話 044-200-2400 FAX 044-200-3973 E-mail 53mikyo@city.kawasaki.jp（令和7年3月までの連絡先となります）																						

多摩丘陵のまち麻生の凸凹を地図で見よう。

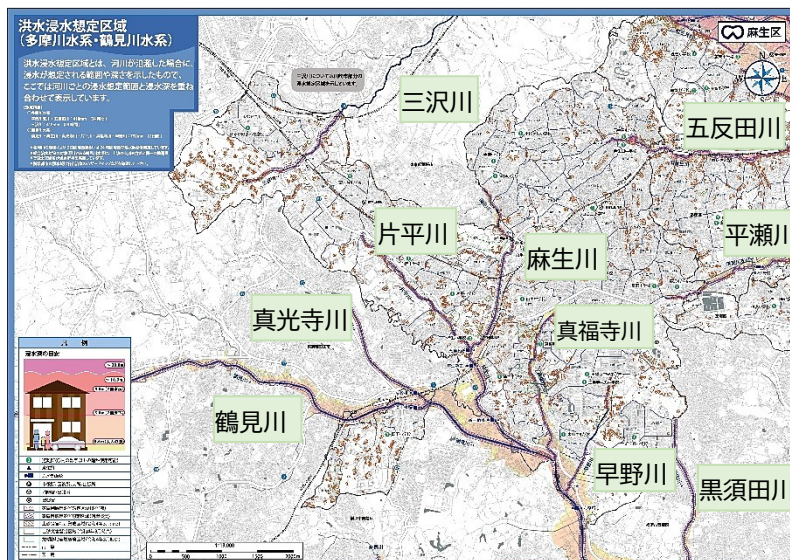
アジア航測株式会社制作 川崎市の赤色立体地図（区民まつりなどで配布されていたもの）



麻生区の赤色立体地図 提供：アジア航測株式会社 国土地理院発行基盤地図情報を用いて作成



川崎市麻生区の手帳マップに川の名前を大きく入れてみました。



2024(令和 6)年度の里山フォーラム in 麻生

里山フォーラム in 麻生の紹介

●2001 年に各活動団体から委員を募り実行委員会として発足。

＜こんな思いで＞

◆麻生区の足元の水と緑を、老若男女誰もが関わる里地(農地)里山(樹林地)として、その環境と文化をはぐくみたい。新しいライフスタイルを模索しながら、都市化が進む中であっても、緑や環境を守り、持続可能な未来を目指したい。

＜こんなことをだいにしながら活動＞

■交流：各活動の場に関わる人々や団体、学校、行政機関が交流し、課題の共有を図る。

■学習：里地・里山文化を再発見しつつ現在の活動を通して人材を育成する。また、流域を意

識し、生物多様性を目指す。

■情報：これからの自然と人間の共生を考え、実践していくための情報の受発信をする。

●実施事業 *里地里山カフェ塾(からむし・苧麻、万福寺人参、麦) *里地里山ナチュラリスト養成講座 *あさお里山こどもクラブ *わたしのまちのホッとする風景写真展-今編、昔編 * “里山フォーラム in 麻生”

麻生区地域課題対応事業-麻生里地里山保全推進事(担当:麻生区生涯学習支援課)として開催。事業運営を幹事・スタッフが力を合わせて担うボランティア活動です。

幹事会 代表 堂前雅史 事務局長 石井よし子

今年度のちらしから からむし講座

麻生区の地名の由来と言われ、今でも野カラムシとしてまちのいろいろな場所に自生しているカラムシを使ったからむし講座の令和 6 年度の様子です。

- ・からむしボランティア研修 7月15日、7月28日
- ・区役所母子像後ろのからむし看板新規制作設置 7月18日
- ・記録映画上映会『ブーンミの島 沖縄県宮古諸島の苧麻文化』 7月28日
- ・親子で楽しむからむしワークショップ「縄文」をつくろう！ 8月3日

里地里山カフェ塾 からむし講座

あさお 麻生区の地名が由来する植物 麻=からむし(苧麻)

古代から身近な植物を発見し利用してきた その文化を紡ぎ、子どもたちに伝える講座です。

からむし ボランティア研修

7月28日(日曜)

午前9時30分～12時

麻生市民館 料理室・実習室

- カラムシを知ろう 繊維を取り出す(苧引き) 撚る・拘う 縄文原形づくり 縄文皿にチャレンジ
- ・参加費 無料・持物 飲料、タオル、雑巾 ◎定員 10名程度
- 案内 石井よし子(麻生のからむし探検家・里山フォーラム in 麻生事務局)
- 協力 里山フォーラム in 麻生 からむしスタッフ
- 8月3日の「親子で楽しむからむしワークショップ 縄文をつくろう」(別ちらし参照)の準備をします。

記録映画上映会

「ブーンミの島 沖縄県宮古諸島の苧麻文化」

7月28日(日曜)

午後1時～3時

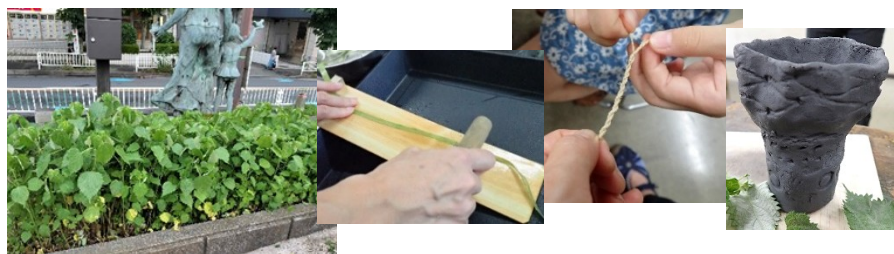
麻生市民館 実習室

監督:春日聡(国立歴史民俗博物館 客員准教授)

制作:国立歴史民俗博物館

- 春日監督の言葉を裏面に掲載しています。ご覧ください。
- ・参加費 無料 ◎定員 20名程度

これまでは豪雪地帯である奥会津の昭和村の『麻とからむし』を拠り所に本講座を進めてきましたが、今回、温暖な宮古諸島の記録映像に出会い、その違いに驚き気づかされることも多く、麻生区でどう取り組んで行くかを深く考えさせられる上映会となりました。



区役所母子像の所のカラムシが一度刈り取られたことが功を奏し、苧引きに適したカラムシでした。文化財課の栗田一生さんから「縄文」を学び、からむしボランティアの助けを借りながら「縄文原形」を作り、粘土で作った皿や壺に押し回したりしながら模様を付けました。縄文遺跡が多い麻生区はその時代と繋がって今があるような実感がして来ました。

おやこ 親子で楽しむ
「からむし」ワークショップ
「縄文」をつくろう！

8月3日(土曜)

あさおしんかん じゅうしつ
麻生市民館 実習室

午前9時～12時

麻生区の地名が由来する植物 麻=からむし(苧麻)

からむしで「縄文」にチャレンジ！

- * 縄文人は何を見つけたのかな？
- * どうしたら「縄文」ができるの？
- 縄文で素焼きのお皿をつくってみよう

— 里山100選のそとで 源



今年度のちらしから 里山こどもクラブ

令和6年度 都市緑化機構-高原環境財団助成事業「こども里山探検隊-足元の不思議を学ぼう」

さとやま
里山こどもクラブ
あしとの しぜんを 発見し 魅力 を 体験しよう！

① 10月6日（日曜）
「ちょっとのぞいてみよう 植物や虫たちの生きる知恵」
・会場 麻生市民館（新百合ヶ丘駅3分）
・講師 高柳芳恵（ナチュラリスト 絵本作家 サイエンスライター）

② 10月27日（日曜）
「いろんな木の実や草の実があるよ たくさん遊ぼう！」
・集合 新百合ヶ丘駅 ・会場 新百合ヶ丘地区公園・緑道など
・講師 高柳芳恵（ナチュラリスト 絵本作家 サイエンスライター）

③ 11月17日（日曜）
「来て 見て さわって “黒川谷ツ公園”を知ろう！」
・集合 はるひ野駅 ・会場 黒川谷ツ公園
・講師 はるひ野里山学校 代表 小澤聡 ほかメンバー

④ 12月1日（日曜）
「柿生の里の収穫祭 作業する一作-恵みを味わう」
・集合 柿生駅 ・会場 お越し山ふれあいの森～ 柿生の里特別緑地保全地区
・講師 柿生の里クラブ 代表 石井よし子 ほかメンバー

今年度は緑化フェアにちなみ高原環境財団助成事業の助成を得て開催しました。里地里山探検隊-足元の自然の不思議を学ぼう-里山こどもクラブ 全4回



麻生区ならではの小田急線の最寄り駅（新百合ヶ丘駅、はるひ野駅、柿生駅）から直ぐの緑地や公園での自然発見・体験学習でした。

生き物や植物に触れ、親しみ、子どもたちが生き活きてきます。自然はすごい！ この環境を将来にわたって守り、はぐくむことが出来ますように。

今年度のちらしから 万福寺人参

万福寺人参の 種の配布 について
2024.05/28

第25回
万福寺人参 品評会
一私の万福寺人参を語り合う会—
2024(令和6)年
12月21日（土曜日）
会場 麻生市民館 実習室
視聴覚室



糖度計を導入。
11度になるものもありました。



ティータイムは
万福寺人参ケーキ



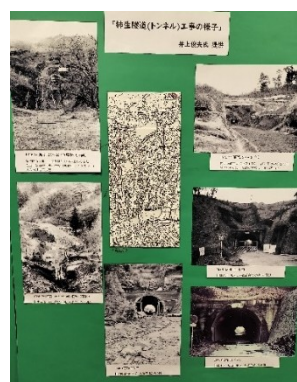
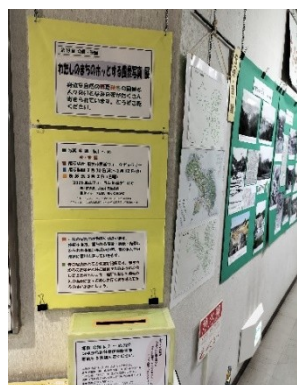
小さな種と-地球のかけらの土と-人間が織りなす物語を語り合いました。明治大学農学部の学生の今年ならではの話に耳を傾け、語り合った時間でした。

2025(令和 7)年 2 月 3 日消印有効で応募を締め切り、麻生市民館 3 階のウォールギャラリーいっぱい掲示となりました。

まちの新たな発見や温故知新を考えるヒントが一杯です。

昔編、今編 (No.1~No.107) は凡そ 2L-A4 の春・夏・秋・野鳥・冬と並んでいます。コメントも読みながらゆっくりご覧ください。

(昔編、今編のほんの一部を紹介します。)



緑化フェア生田会場での写真展
会場で麻生区
の里山を
紹介し、麻生
の里山の広
報に努めま
した。



↑ 今編 ↓ 昔 (昔・今) 編



第 18 回の入賞写真から一部をコラージュで紹介。今編 井上俊夫 (四季・春夏秋冬) から春、真下智彦 (スプリング・エフェメラル)、安藤敦 (メロの舞い)、山井信 (春の中の雨)、大友洋祐 (茜雲の頃)、鎌倉正人 (卯の花咲く都市河川) 昔編 鈴木秀雄 (羊舌と屋根の縮図) (四十八枚田)、井上俊夫 (葉積谷から見た山口谷戸と山口台 40 年の変化) から、井上俊夫 (我が母校 1958 年頃の東橋小正門)、市嶋新 (金沢から眺めた扇坂の丘 昔と今)

主催 里山フォーラム in 麻生 / 麻生区生涯学習支援課
令和 6 年度 麻生区地域課題対応事業 麻生区里山保全推進事業

第十九回 わたしのまちの
**ホッと
する風景写真展**
今編 昔編 応募 受付中

心が動いたひとこまや「ここはどこ?」
ど会話で弾むまちの移り変わりの様相
など気軽にご応募を /
写真を麻生市民館へ郵送かご持参して
ください。令和 7(2025) 年 2 月 3 日
まで受付 (当日消印有効) ます。
【募集要項-応募用紙】は裏面に。



応募いただいた方々に感謝しつつ、大切に展示作業を行いました。コメント入力、印刷、貼り付け、写真を大切にしながらラシャ紙に時系列に貼り付ける、壁面に掲示するといった、展示するためのボランティア作業が続きました。

3 月 12 日迄展示しています。どうぞご覧の上感想をお寄せください。

里山フォーラムの紹介 文責 石井よし子

今年も 1 部 (午前) 2 部 (午後) と通常開催のフォーラムです。「フォーラム資料集 24」も小学校、団体・施設とも体験学習や活動内容が伝わるようにとカラー冊子にしました。

紹介カードの行間からはそれぞれのあつい気持ちが溢れ伝わって来ます。また今年度は 20 周年、25 周年と節目を迎えた団体もあることが分かりました。走馬灯のようにあれこれ巡りますね。乗り越えた様々な困難も笑顔に変えて、新たな仲間を迎え、大地に根差した活動は継続されて行くことでしょう。フォーラムがお互いに知り合い、気にかけて、知恵や勇気やあたたかい気持ちが湧いて来る一助になればと思います。

原稿をお寄せ頂いた皆様へ深く感謝します。多くの方のお目に触れ読んで頂きますように。(入稿原稿作成補 角南ゆり絵) 編集 里山フォーラム in 麻生事務局 石井よし子

“2025 里山フォーラム in 麻生（第 24 回）”

資料集 24

発行日 2025(令和 7)年 3 月 2 日

編集・印刷・製本 里山フォーラム in 麻生

※本資料集の内容を参考にする場合はご一報頂ければ幸いです。
無断転用などをご遠慮ください。→ 連絡先 里山フォーラム in 麻生
E-mail satoyamaforum@gmail.com TEL 070 - 6426 - 6123

令和 6 年度 麻生区地域課題対応事業-麻生里地里山保全推進事業
主催 里山フォーラム in 麻生・麻生区生涯学習支援課(麻生市民館)
麻生市民館 TEL 044-951-1300